

Vol.73

多摩市男女平等・男女共同参画情報誌

たまの女性

多摩市で働き、くらす

ご家族にインタビュー

マンガで学ぶ
パパの家事・育児

市民運営委員会企画

多摩のパパにインタビュー

多摩市で働き、くらすご家族に

インタビュー

多摩市桜ヶ丘ロータリーの人気店『dining 和桜』を経営する誠一郎さん・久美さんご家族に、多摩市で働くこと・くらすことについてのお話をお聞きしました！



誠一郎さん(40代)

趣味：料理

久美さん (30代)

趣味：ハンドメイド

凧ちゃん (3歳)



dining 和桜の料理

夢をかなえるため多摩市に

——お店を開こうとしたのはいつ頃ですか？

誠一郎さん 板前は独立を目標にみんな頑張っているので、他の店舗で修行中からずっと自分の店を持つのが夢でした。

——開業場所は多摩市で探していたのですか？

久美さん そろそろお店を持ちたいよねって時に、いろいろな地域で物件を探したなかで、たまたま見つけました。私がジブリ大好きで、ここしかない、今買わなきゃ誰かにとられちゃうと思い、まだ自分の店舗を持つには早い段階でしたが一大決心をしました。

2011年に引っ越してきて、2015年の開店までに、多摩市はどんなまちなのか知りたいのもあり、互いに市内で働きながら開店の準備を進めました。

——最初からジブリを意識した店づくりを考えていたのですか？

久美さん 最初は、和食のお店を出すということが最優先でした。ジブリを意識したのはたまたま桜ヶ丘ロータリーに物件を見つけることができたからです。

来てくれた人に「多摩市に来てよかったな」と思ってもらえる店に

——dining 和桜のコンセプトはありますか？

久美さん 地域に根差した和食のお店というのが大前提で、なおかつまち歩きに来た方が、「多摩市に来てよかったな」と思って、将来住む場所を考えるときのきっかけになったらうれしいなと考えています。



「耳をすませば」ファンに人気のスポット桜ヶ丘ロータリーにお店はあります。

夫婦の役割分担——家事はできる人がやる

——夫婦の家庭内での役割分担はありますか？



久美さん 特にわけていません。助け合っという感じですね。できることはできる人がやるようにしています。そして、相手をやらなくても責めない。

——お父さんはお子さんをあやすのも、とても手馴れていらっしゃるんですね。

誠一郎さん 機嫌次第ですね。泣いて手をつけられない時もあります。お母さんじゃないとだめということがほとんどです(笑)。

久美さん でも、ずるくて、私が怒っているときは「パパー」って言います(笑)。他にも逃げ道がたくさんあって、例えば、お客さんがいるときは私が絶対に怒らないってわかっているようです。それでも、私が「怒っているよ」って伝えるとそれもわかってれています。

——お子さんが生まれてライフスタイルの変化はありましたか？

久美さん 特に大きくは変わっていませんが、できることをできるうちにという感じになりました。今はだいぶよくなったのですが、娘が0～2歳の時は食事とかおむつ替えて1日中手がかかるので、後回しにできることは、お店の営業終了後に回すように時間の使い方が変わりました。

お店をやりながらの子育て

——お店と同じ場所で子育てをするうえで、楽しいことや大変なことはありますか？

久美さん 毎日楽しいです。子どもを通して知り合った人も多く、皿の友達のご両親とか、出会いが皿からスタートするなど、出会いが増えたのは楽しいですね。皿に会いたくて店に来る人もいます。大変なのは…こんな状態ですね(笑)(インタビュー中に久美さんや誠一郎さんに絡みつく皿ちゃん)。でも娘に助けられることもたくさんありますね。最近は手伝ってくれることも多いです。



——3歳なのにすごいですね。どのようなことを手伝ってくれるのですか？

久美さん お客さんが水をこぼした時には、おしぼりを持って行ってくれたり、お箸を運んでくれたりします。

コロナ禍でも立ち会えた出産

——改めて親になった実感が生まれたのはいつですか。

久美さん 生まれた瞬間です。結婚して12年たってから生まれた子で大変だったのですが、皿には感謝しかありません。

誠一郎さん 生まれた娘を抱っこしたときですね。コロナ禍でしたが、運良く立ち合いだけはできました。親になった実感がわきましたね。

——お話をお聞きし、dining 和桜が愛される理由が伝わりました。ありがとうございました。



春は桜が美しい桜ヶ丘ロータリー

dining 和桜

多摩市桜ヶ丘 2-2-6

Tel : 042-319-3936

HP : <http://wazakura.net/>

Instagram : <https://www.instagram.com/dining.wazakura/>

X : <https://x.com/diningwazakura/>

営業時間 : 17時～(ランチ有:要確認)

定休日 : 毎週月曜日



HP



instagram



X



多摩のパパにインタビュー！



～家事と育児どうしてる？～

～ TAMA 女性センター市民運営委員会企画～

今回お話を聞きしたのは…

M さんご夫婦（共に30代）

- パ パ…修一郎さん（仮名）、介護職
- マ マ…京子さん（仮名）、会社員
- 子ども…長女6歳・長男1歳



一日のスケジュール（平日）

パパ（修一郎）	ママ（京子）
起床 6:00	
朝食準備、朝食食べさせる 自分の支度、長男の着替え 出発→保育園→職場へ	7:00 起床 (ご飯の支度) 仕事
始業 9:00	
終業 15:00	
買い物、片付け、 掃除、料理	
おむかえ 16:45	
食事、食べさせる、片付け	18:00
子どもとお風呂 19:00	早めに帰れば 育児も
長男の寝かしつけ 20:00	
長女の寝かしつけ 21:00	21:00 帰宅したら 就寝
片付け、明日の支度、ゆっくり	
就寝 24:00	

「家事・育児は主にパパ担当」で安定

修

京子はバリバリ働きたい意思を持っていて、僕はそれを応援したいし、家事はきらいじゃないし、子どもたちと一緒にいられるのは嬉しいから、今の形になりました。第2子が生まれてから、京子が仕事に集中するために、僕が今の仕事に転職して、この生活になった感じです。

子育てで大事にしていること

修

自分も無理したくないし妻にも子どもにも無理して欲しくない。誰かに全部やってもらうのは気持ち的にラクではないので、あくまでもみんなでラクに生きたいです。後ろめたくないラク。

京

「迷わない」という事を最近大事にしています。固定観念に直面することも多いですが、子どもたちと一緒にいられる時間には精一杯愛情を注いでいるし、私たちの家族のスタイルはこれでいいんだという自信をもっとしっかり持って生活していきたいので迷う時間を極力少なくしたいと考えています。

固定観念にとらわれず、
互いにリスペクトし合いながら
生活スタイルを模索して
います♪

インタビューから垣間見た家事・育児の分担 & 意識

GOOD!

Vol 1 Sさんご夫婦

「最初から家事も育児もやるつもりではいました」と頼もしく語るパパ。でもママに言わせるとまだまだ「足りない」と感じる点はあるようで…（笑）2人目の誕生をきっかけに育児への姿勢がガラリと変わり、「大好きになった♪」
by ママ



Vol 2 Mさんご夫婦

バリバリ働くママを支えたいパパ。家事も育児も好きな自分の生き方を模索した結果、家事・育児の8割を担っています。明確な理念をもって育児に向き合うパパと、抜群の行動力と社交性を活かして働くママの深い信頼関係がステキです！

Vol 4 Cさんご夫婦

4児を抱えるにぎやかな家庭。ママがラクだと感じている理由の1つは、最も苦手な「保育園の送り迎え」をパパが担っているから。パパは育児を優先させて思い切って転職！パパの努力し続ける姿勢自体が、ママにとっては嬉しいとのこと♪

Vol 3 Eさんご夫婦

家事も育児も、どちらか一方に偏らないようにお互い心がけているパパ。それでも育児におけるママの負担の大きさは想像以上だったようです。完璧主義になりがちなママの疲れを心配して、率先して自分のできることを探しています。



子育て、特に乳幼児の子育ては、めまぐるしいものです。パートナーと互いに助け合って自分の時間も確保するのが理想ですが、そう上手くはいかないかもしれません。自分の時間を確保したい。そんな時は、多摩市の一時保育サービスを利用してみてはいかがでしょうか？

詳細は多摩市子育て応援サイト「たまむすび」をご覧ください！



▲たまむすび

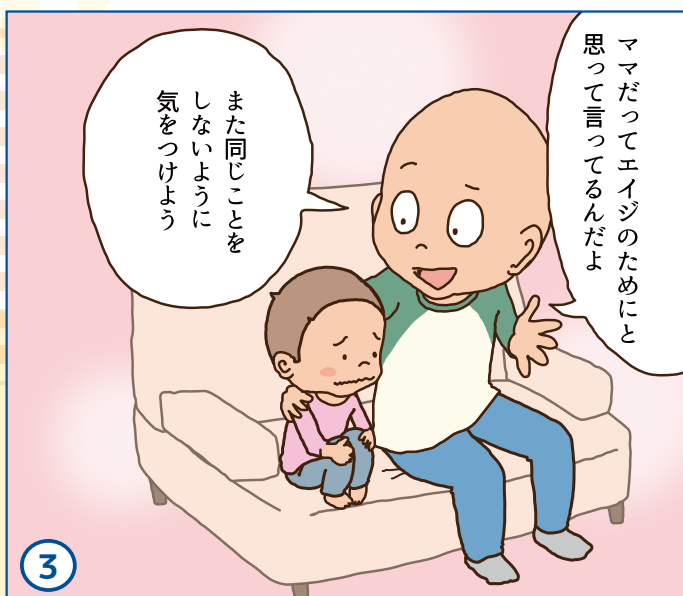
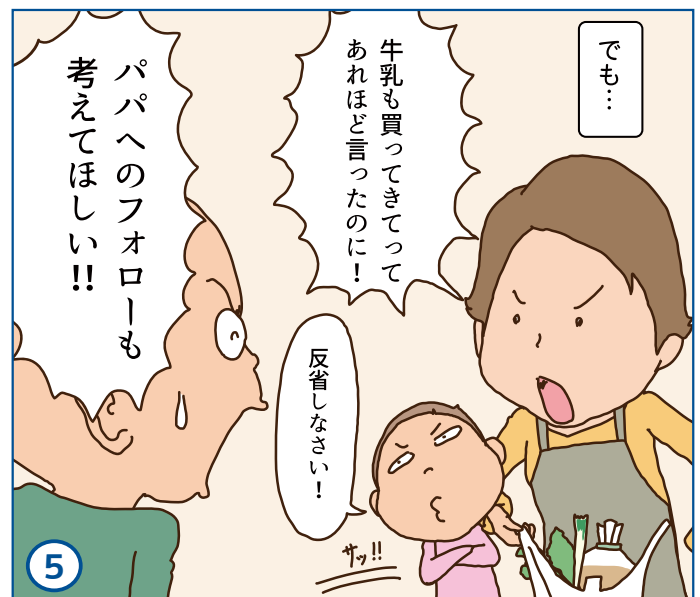


▲多摩市公式ホームページ

ご紹介できなかった「多摩のパパにインタビュー！」の内容は多摩市公式ホームページに掲載されています。

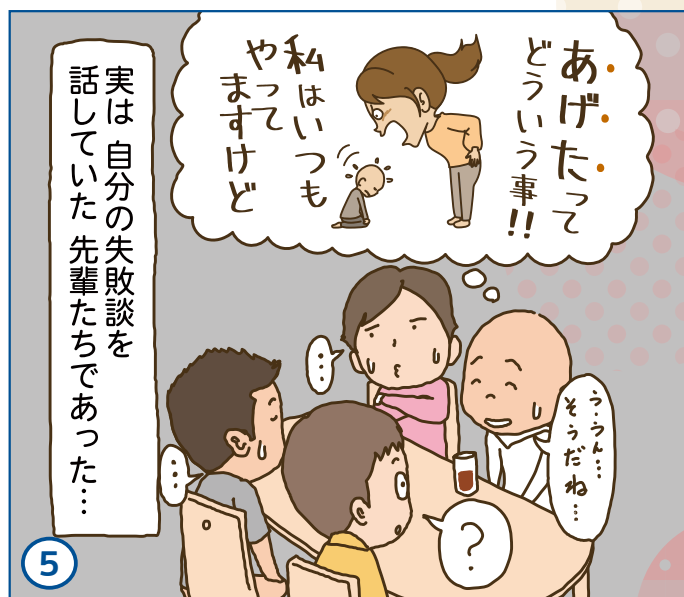
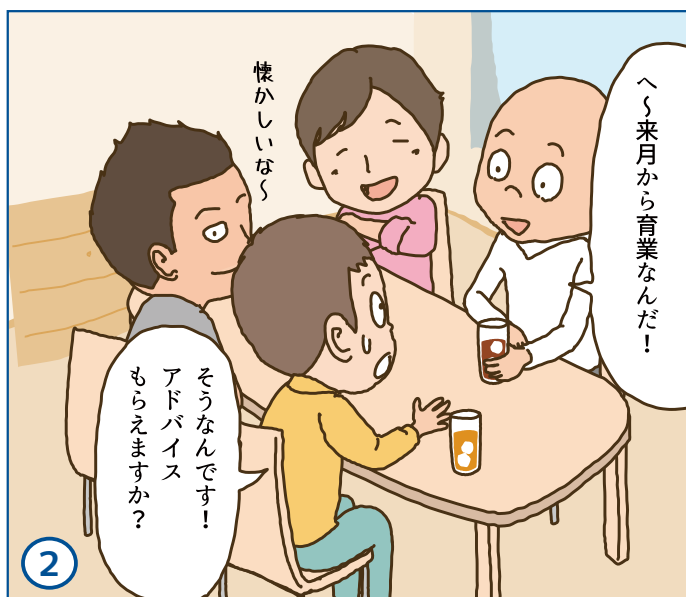
マンガで学ぶ パパの 家事・育児

パパの家事・育児についてエイイチさんのマンガを通して楽しく学んでみましょう。

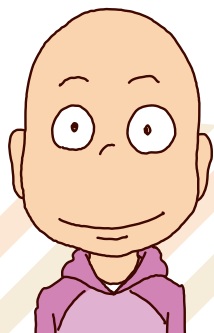


子どもを叱る際、夫婦二人で叱っていませんか？ 二人同時に叱ると、子どもの逃げ道がなくなってしまいます。叱るときは、夫婦どちらか一人にして、もう一人はフォローに回り子どもを孤立させないようにしましょう。日頃からどのような役割をするのかママとコミュニケーションを取っておくことが大切です。

育業のコツは 先輩パパに聞け！



男性の育児休業の取得率は年々上がってきています。これから取得される方は、パパ友や職場の育業した方たちと育業中の過ごし方や役割の話を聞けるといいですね。成功談はもちろんのこと、失敗談も大事な参考になるでしょう。出産直後のママは、大きなダメージを受けています。育業パパの活躍が求められます。



四コマ漫画

エイイチさん

イラストレーター。一児のパパ。

多摩センターで青春をすごす。

東京都 Web サイト「TEAM 家事・育児」で子育て漫画連載中。



▲パパズ・スタイル
ーTEAM家事・育児

あなたのモヤモヤした悩み引き受けます！

TAMA 女性センター相談室のご案内

TAMA女性センターでは各種相談業務を行っています。

TAMA女性センターの相談業務の1つである「女性を取り巻く悩みなんでも相談」では、次のような相談を受け付けています。



などなど、その他あなたが抱えているモヤモヤした悩み、なんでも引き受けます。まずはTAMA女性センターまでお問い合わせください。

●女性を取り巻く悩みなんでも相談

女性を取り巻くさまざまな悩みやDVの相談等、専門の相談員(女性・心理カウンセラー)が相談をお受けします。

面接相談(予約制) : 毎週火・金曜日 9:30 ~ 12:30
毎週土曜日 13:30 ~ 16:30
電話相談(予約不要) : 毎週木曜日 10:00 ~ 13:00 / 13:30 ~ 16:30
電話相談専用番号 : ☎ 042-355-2111

また、その他にもTAMA女性センターでは次の相談業務もおこなっています。

●女性のための法律相談

弁護士(女性)が、面接(予約制)で相談をお受けします。 毎月第3水曜日 9:30 ~ 12:00

●LGBT電話相談

豊富な経験を持つ専門の相談員が、電話で相談をお受けします(予約不要)。

毎月第3火曜日 偶数月(4・6・8・10・12・2月) 14:00 ~ 18:00
奇数月(5・7・9・11・1・3月) 16:00 ~ 20:00
電話相談専用番号 : ☎ 042-355-2112

面接でのご相談は**予約制**です。

事前にTAMA女性センターまでご連絡ください。

TAMA女性センター相談予約受付番号

☎ **042-355-2110**



多摩市立TAMA女性センター
東京都多摩市関戸 4-72
ヴィータ・コミュニネ7階
☎ 042-355-2110

アクセス
京王線聖蹟桜ヶ丘駅徒歩2分

「たまの女性」募集 読者アンケート

「今号のここが面白かった!」「こんな記事が読みたい!」「このテーマを取り上げて欲しい!」
といった感想・意見を募集中です。
ぜひ、以下のアンケート回答フォームからご意見をお寄せください!



アンケート
回答フォーム

